

実践型 社会起業家論

Social Entrepreneurship

香川大学地域マネジメント研究科; 2008年度後期; 特別科目; 1・2年次; 2単位

八木 陽一郎 (yagi@gms.kagawa-u.ac.jp)

日本財団助成講座

地方の時代と言われるようになって久しく、既に多くの時間が経過しました。しかし、現実には地方自治体の財政は苦しく、人口の減少や若年人口の都心部への流出傾向が続き、地方と都心部における格差は拡大する傾向にあると言われていています。そんな中、自分たちの住む地域の将来に不安を抱く声も少なくありません。しかし、その一方で、自分たちの地域を活性化するために新しい事業を起こし、人々とのネットワークを構築し、様々な問題の解決に取り組もうとする人々の活躍も見られるようになってきました。本授業では、そのような人々の活躍に焦点をあて、そのような人々が地域にもっと多く現れるように知恵と熱を交換する場を提供します。

少し前まで「起業」という言葉は、一般的に、ハイリスク・ハイリターンで株式公開などを目指す経済的な行為を指す言葉として使われていたと思います。本授業では、そのような単に経済的なリターンを求めただけの起業ではなく、地域社会に対する意義ある貢献を経済的にも持続可能な方法で実現していく「社会的な起業」の仕方について実践的に学ぶことを目的としています。

私たちの住む地域や社会をより生き生きと面白いものにしていきたい、住民同士の助け合いやコミュニケーションを活性化するための仕組みを具現化していきたい、地域の魅力を発信し地域外の人々をもっと多く呼び込むことが出来るようなアイデアを実現したい等、受講生の様々な目的を実現するための実践的な知識やスキル、ネットワークを本授業では提供したいと考えています。授業の最終回では、社会起業家として皆さんが持っている夢やヴィジョンをビジネスプランとして発表して頂きます。

授業には、国内各地で優れた社会的起業に取り組んでいる実務家や研究者の方々をお招きします。そして、受講生の皆さんと活発な議論を重ねながら、どのようにすれば私たちのアイデアやヴィジョンを具現化出来るのかを探っていきます。ビジネスプラン作成のワークショップも開催します。

地域や社会に貢献したいというアイデアやヴィジョンを持つ受講生の参加を歓迎します。なお、本授業はその開講目的に鑑み、受講生を地域マネジメント研究科学生のみ限定せず、自分たちの地域をもっと元気にしたいという志を同じくする方々を幅広く聴講生(無料。ただし単位修了の認定はいたしません)として受け入れます。なお、プログラムの関係上、受講人数に一定の制限を設ける場合もありますが、予めご了承ください。

■前提科目・関連科目・教科書

特になし

■参考文献

- ・『『元気村』はこう創る 実践・地域情報化戦略』 國領二郎・飯盛義徳編著 日本経済新聞社
- ・『概論ソーシャル・ベンチャー』 神座保彦著 ファーストプレス
- ・『一夜でわかる!「NPO」のつくり方』 加藤哲夫著 主婦の友社
- ・『企業の社会戦略とNPO 社会的価値創造にむけての協働型パートナーシップ』 横山恵子著 白桃書房
- ・『ケースブックⅢ日本型HRM』 石田英夫著 慶応義塾大学出版会

■授業方法

講義のみならず、講師と受講生の皆さんとの活発なディスカッションやワークショップなども盛り込まれる予定です。最終回には社会起業家としてのアイデアをビジネスプランとして発表する機会があります。

■成績評価

授業へ積極的な参加と発言による貢献度：30%

小レポート：30%

ビジネスプランの発表：40% ※ビジネスプランの発表はグループによるものも認めます

■教室

高松丸亀町振興組合の皆様のご厚意によって丸亀町商店街の壱番街東館3階にある丸亀町レッツホールを会場として使用させていただきます。教室は香川大学ではありませんので、ご注意ください。

会場へのアクセス <http://www.kame3.jp/access/>

■授業計画（予定） ※都合により変更になる場合があります。予めご了承ください。

第1回 12月9日（火） 18：20～21：30

テーマ「学びの場づくりから始める地域活性化」

特別講師 飯盛義徳氏（慶応義塾大学総合政策学部准教授・鳳雛塾ファウンダー）

地域を活性化するために不可欠な起業家精神を持った人材育成の仕組みづくりに取り組む飯盛義徳さんから佐賀県鳳雛塾の取組み事例をご紹介いただき、社会起業家が成長し、社会的なイノベーションが地域に普及する上で大切な要因や仕組みは何か、それをどうすれば実現できるかについてケース教材を基にディスカッションします。社会起業家に求められる熱とヴィジョン、そしてそれを形にしてきた具体的な行動とログブックについて学びます。

使用ケース「NPO 法人鳳雛塾 地域にふさわしいアントルプレナー育成モデルを目指して」

第2回 12月16日（火） 18：20～21：30

テーマ「社会起業家に求められるマインドセットとマネジメント能力」

特別講師 神座保彦氏（ニッセイ基礎研究所研究理事）

第2回目は、投資家として多くの起業家と接してこられ、現在は社会起業家の育成にも尽力されていらっしゃる神座保彦さんを講師としてお迎えし、社会起業家に求められる戦略的なマネジメントのスキルと思考についてお聞きします。授業の後半はワークショップも開催し、志をただの熱い想いで終わらせず具体的な形に落とし込むための実践的な視点とスキルについてより深く学びます。

第3回 1月13日（火） 18：20～21：30

テーマ「社会を元気にする事業とお金の流れ」

特別講師 鶴尾雅隆氏（ファンドレージング道場主催者、ファンドレックス代表取締役）

社会的なミッションを具現化する上では、資金調達という課題を避けて通ることは出来ません。しかし、その一方で事業としての成功を第一の目的としてスタートするわけではない社会的な起業においては資金調達が大きな壁として立ちはだかり、継続的な運営が困難になる例もしばしば見受けられます。この回では、社会貢献分野における好循環的なお金の流れを創造する上で先進的な取り組みをされていらっしゃる鶴尾雅隆さんにお話をお聞きします。

第4回 1月20日（火） 18：20～21：30

テーマ「社会起業家の経営戦略と会計」

特別講師 脇坂誠也氏（税理士、NPO 法人 NPO 事業サポートセンター監事）

社会起業家に不可欠なスキルとして経営戦略と会計があります。しかし、こうしたスキルの習得については苦手意識を持たれている方も少なくないようです。NPO 法

人の経営指導や会計の分野で活躍される脇坂誠也さんから実践的でわかりやすい講義を頂き、疑問と苦手意識を一気に解消しましょう。

第5回 1月27日(火) 18:20~21:30

テーマ「社会的起業家に求められる企業・行政との協働の実現」

特別講師 横山恵子氏(東海大学政治経済学部准教授)

山田仁一郎氏(香川大学経済学部准教授)

多くのベンチャー企業がスタートアップ時につまずく1つの大きな理由として、社会からの信頼性が不足し結果的に社会から必要な資源(人・物・金・情報)を十分に得られないということがあります。その一方で、スタートアップ時の困難を乗り越えてきた多くのベンチャーには産官学との効果的な協働を実現させている事例が少なくありません。企業や行政との効果的な協働関係をどのように生み出しているのかについて専門家のお二人にお聞きします。また、社会的起業家取材しケースを執筆された山田仁一郎さんから、高松の地元情報を発信するドコイコのケースに関するディスカッションをリードしていただきます。

使用ケース「有限会社ドコイコ(2005):地域発ITベンチャーの挑戦(1)」

「株式会社ドコイコ(2006):地域発ITベンチャーの挑戦(2)」

第6回 2月3日(火) 18:20~21:30

テーマ「社会的起業家のリーダーシップとステークホルダー」

特別講師 石田英夫氏(東北公益文科大学大学院教授 慶応義塾大学名誉教授)

既存の老人病院のイメージを一新し、自分の親を安心して預けられる、ご老人が幸せになれる老人病院として全国に知られる青梅慶友病院。そのような病院を作り上げた大塚宣夫理事長を中心に、社会起業家としてのリーダーシップ、組織の仕組みづくり、従業員や社会への影響などをディスカッションします。ディスカッションのリードは、青梅慶友病院取材されケースを執筆された石田英夫さんをお願いしています。使用ケース:「青梅慶友病院と大塚宣夫」

第7回 2月10日(火) 18:20~21:30

テーマ「実践!社会起業家としてのビジネスプランを描く①」

特別講師 加藤哲夫氏(せんだいみやぎNPOセンター代表理事)

社会起業家としてのビジネスプランの描き方、そして実際の運営上の課題とその対応について、社会起業家の支援に豊富なご経験を持つ加藤哲夫さんからレクチャーとワークショップを通じて学ばせて頂きます。受講生の皆さんの具体的なアイデアへのアドバイスや様々な疑問に対するヒントが得られることと思います。

準備日 2月17日(火) 18:20~21:30

テーマ「実践!社会起業家としてのビジネスプランを描く②」

この日は発表準備のため受講生の皆さんに丸亀町レッツホールを解放します。ビジネスプランのブラッシュアップやプレゼンテーションの準備のために有効に活用してください。

第8回 2月24日(火) 18:20~21:30

テーマ「ビジネスプランの発表:社会起業家としての新たな挑戦」

特別審査員 伊藤健氏(ソーシャルベンチャーパートナーズ東京ディレクター)

社会的起業のビジネスプランを受講生の皆さんに発表して頂きます。発表されるビジネスプランに対して受講生同士でディスカッションする時間も取り、新たな社会起業家の誕生に向けて皆で協働したいと思います。優秀なビジネスプランにはそのアイデアと志を称え、名誉ある賞(現在、中身は検討中!?)を授与したいと思います。なお、審査員として社会起業家への支援を継続されてきたソーシャルベンチャーパートナーズ

東京の伊藤健さんをお招きします。

■シラバスの改定について

本シラバスは2008年9月1日段階のものです。よりよい授業のあり方を模索する途上で、本シラバスの内容は改定されることがあります。
授業およびシラバスの改定に関しては下記のホームページにて順次告知していきます。
<http://yagi-lab.com/lectures>

■聴講生の申込みについて

本科目は、地域に一人でも多くの社会起業家が誕生することを重要な目的として位置づけております。したがって、聴講をご希望する方を積極的に募集します。
聴講の希望者は、八木研究室まで事前にメール(yagilab.sec@gmail.com)でお申し込みください※。※メールアドレスのyagilabとsecの間にはドット“.”が入ります。
ただし、会場の収容人数の関係等でお断りする場合もあることを予めご了承ください。申込みの締め切りは11月末日です。
聴講の申し込みの際は、(1)氏名、(2)住所、(3)メールアドレス、(4)ご職業、(5)聴講の目的と動機をメールにお書きください。
なお、聴講にあたっては別途注意事項として、他の受講者の学習にとってマイナスとなるような言動があった場合、その時点以後の聴講はお断りする可能性があることを予めご了承ください。

■本授業に関するお問い合わせ

本授業は履修届提出の締切日以降に開講されるため、本授業の説明と質疑応答を組織行動論の初日に若干の時間を割いて行う予定です。
その他、本授業に関するお問い合わせは八木研究室までメール(yagilab.sec@gmail.com)にてお願いいたします※。
※メールアドレスのyagilabとsecの間にはドット“.”が入ります。

■謝辞

本授業は開講にあたっては、授業の趣旨にご賛同を頂いた多くの方々のご支援をいただきました。心より感謝いたします。講師の皆様には大変お忙しい中、予定を調整頂いてご出講頂けることになりました。また、日本財団からは多大なご協力と助成金のご支援を頂きました。高松市にはご後援を頂きました。丸亀町商店街振興組合の皆様にはご後援と会場のご提供を頂きました。誠にありがとうございました。記して謝意を表します。

本講座は日本財団の助成講座です

